

鏡平

カガミダイラとは「鏡の平原」という意味ですが、その名前はおそらく、この場所にある数多くの池の澄んだ水が、周囲の山々の姿を映し出す様子から付けられたのでしょう。これらの池の中でも最も大きいものは当然のことながらカガミケ（「鏡の池」）と呼ばれています。風の無い日には、その水が周囲の穂高連峰や槍ヶ岳を映し出します。また、この平原はモミ類やブナ類、そしてナナカマドと呼ばれる樹冠が丸く真っ赤なベリーのような実をつける落葉樹など、さまざまな亜高山性の樹木で覆われています。こうした自然の風物が織りなす景色のために、多くの経験豊富な登山者が日本アルプスの景勝地として鏡平の名前を挙げるようになりました。

この平原でのキャンプは禁止されていますが、事前に予約をすれば鏡平山荘での宿泊が可能です。宿泊客は夕方遅くや早朝に山を眺める特権を楽しむことができます。

鏡平は海拔 2,300 メートルの場所にあり、新穂高温泉と双六岳を結ぶ小池新道からアクセスすることができます。新穂高からこの平原までハイキングすると約五時間かかります。